

高速・高精度のスクリーン除去技術「eComicScreen ReM」を開発 過去の名作まんがのカラー化に貢献

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大橋輝臣 以下:当社)は、画像処理技術の活用によりスクリーン※1だけを自動で消去する「eComicScreen ReM(イーコミックスクリーンレム)」を開発しました。作家の線画のタッチを傷つけることなくスクリーンを除去することで、近年拡大を続ける電子コミック市場に向けた、過去の名作のカラー化に貢献します。

※1 スクリーン:まんがやイラストのモノクロ原稿において、濃淡、影や質感、柄を表すために使用される模様



画像処理の比較

左:製版データ(スクリーンあり)、中:eComicScreen ReMでのトーン除去後※2、右:カラーリング後

※2 eComicScreen ReMは、トーン除去までを担当します

従来、印刷されたモノクロのまんがの製版データをカラーリングする際には手作業でスクリーンを除去し線画にする必要があり、その時間や費用などが課題となっていました。当社は、画像処理システム eComic シリーズで培った AI 技術を生かし、画像内のスクリーンを高精度に除去する「eComicScreen ReM」を開発しました。

「eComicScreen ReM」は、独自の AI モデルが線画とスクリーンを瞬時に識別し、作家の繊細な線画のタッチを傷つけることなくスクリーンを高精度に除去します。また、1 ページあたり数時間要していた画像でも、わずか数秒で処理を完了することが可能です。1 巻分のコミックスデータをまとめて処理する一括変換もできるため、トーン除去の作業時間を大幅に短縮し、カラーリングなどクリエイティブな作業へ時間をかけることができます。

当社は、今後も出版社などに向けて eComicScreen ReM をはじめとした eComic シリーズの提案・採用を推進し、まんがのデジタル作業の効率化に貢献していきます。